

# 道路ネットワークの機能強化について

【担当省庁】国土交通省

## 〔スマートインターチェンジ及びアクセス道路の整備〕

- 新名神高速道路の全線開通（令和5年度予定）の効果を府域に行き渡らせるため、城陽スマートインターチェンジ及び関連するアクセス道路整備に必要な予算を確保いただきたい。

## 〔将来に向けた道路ネットワーク計画の策定〕

- 重要物流道路及び広域的な代替路等について、地方の声を十分に反映し、早期に追加指定していただくとともに、それらの道路の機能強化及び重点整備のため、必要な予算を確保いただきたい。

### 京都府・京都市共同提案

- 堀川通（国道1号）の交通円滑化等に向けた新たなバイパストンネルの可能性等の調査を進め、早期の計画策定をお願いしたい。

### 京都府・京都市共同提案

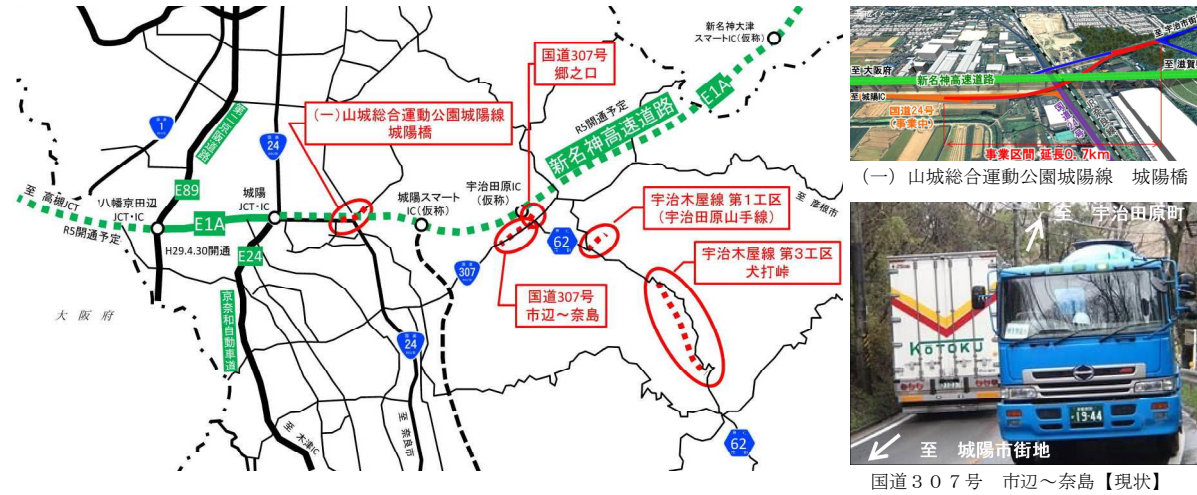
- 京都都市圏の交通課題（亀岡方面や大津方面）について、交通集中の緩和や災害時のリダンダンシー確保のため、具体化に向けたルート検討等の調査を進めていただきたい。

## 【現状・課題等】

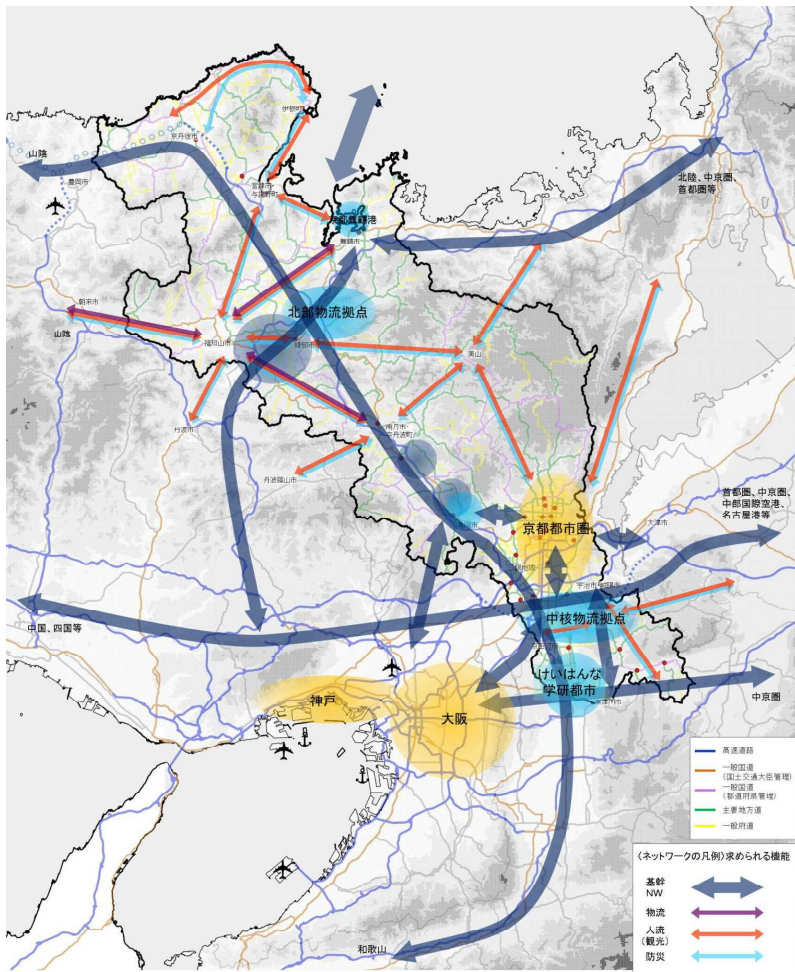
- ・サプライチェーンの国内回帰など、ウィズコロナ、ポストコロナ社会を支え、国土をフル稼働させる道路ネットワークの機能強化が必要
- ・国道307号などのアクセス道路事業（補助事業）については、新名神高速道路の整備効果を最大限発揮するため、全線開通と同時供用が必要
- ・災害時にも物流を支える広域的な代替路として考えられる国道162号、国道176号、国道423号等が現在指定されていないなど、早期の追加指定が必要
- ・堀川通（国道1号）の慢性的な渋滞に対して、国において短期的対策を順次実施されているが、引き続きバイパス整備等の機能強化の検討が必要
- ・亀岡方面、大津方面ともに、過去に高速道路と一般道の同時通行止めが複数回発生しており、特に、国道9号（亀岡市～京都市）においては、平成30年7月豪雨時に京都縦貫自動車道及び国道9号の通行止めに加え、JR山陰本線の運転見合わせもあり、往来が不可能となった事案あり
- ・亀岡方面、大津方面ともに市街地において慢性的な渋滞が発生している。

京都府 の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
-------------	----------------------------

■新名神高速道路周辺のアクセス道路整備



■京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク



・平成30年11月に設置した京都府将来道路ネットワーク検討委員会の議論等を踏まえ、京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク、中長期的な道路整備の方向性等を示す「京都のみち2040」（令和元年12月）を策定

・京都府の将来に必要な道路ネットワークの中で、京都市～亀岡方面及び京都市～大津方面については、「人流（観光）」、「物流」、「防災」の視点から必要な基幹リンクとして位置付け